



京都大学 大学院 総合生存学館

思修館

主催 総合生存学館（思修館）ネットワーク社会研究会

第10回 思修館・卓越セミナー ITと社会システム

—社会と技術の共進化のための文理融合—

2018年 12月 26日（水）～27日（木）

京都大学東一条館 思修館ホール（12/26）、大講義室 201（12/27）
京都市左京区吉田中阿達町 1（京大正門から西へ徒歩 5分）

参加
費
無
料

対象 京都大学の大学院生、学部生、教員・研究者

ゲスト講師 工藤 泰幸氏（産官学連携本部・日立京大ラボ主任研究員）

概要 ITが日常生活に浸透して新たなサービスが次々と提供される中、思わぬ社会問題の要因となるケースも増えています。このため、問題の事前把握や目指すべき社会、ITの関わり方を見据えるための文理融合研究を進めています。
本セミナーでは、ITの方向性や文理融合研究の最新事例について講義を行った後、今後の社会システムとITシステムとの関係性について、ワークショップ形式で参加者のみなさんと考えていく予定です。

タイムスケジュール	2018年 12月 26日（水）	2018年 12月 27日（木）
	10:30-12:00 イントロダクション： 文理融合研究の背景、Society5.0との関係	10:30-12:00 文理融合研究の事例①： 協力的行動を活性化するナッジ AI
	13:30-15:00 今後のITの方向性： ヒトの利便性向上（提供）から活動支援（介入）へ	13:30-15:00 文理融合研究の事例②： エネルギーの地産地消に向けた分散協調システム
	15:30-17:00 関連技術の概要： 分散システム、機械学習、メタアナリシス、 合理的選択理論	15:30-17:00 ワークショップ ITシステムの社会システムへの介入について

使用言語 日本語

申し込み 件名を「12月26-27日 思修館・卓越セミナー参加」とし、以下の必要事項を明記のうえ、メールにてお申し込みください。

<必要事項>

- ・氏名
- ・所属
- ・連絡先（できれば）

<申し込み先> E-mail: gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<申し込み締切日> 2018年 12月 21日（金）17時 00分

京都大学大学院総合生存学館（思修館）事務部 教務掛

問い合わせ TEL: 075-762-2010 E-mail: gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp